

■コメント

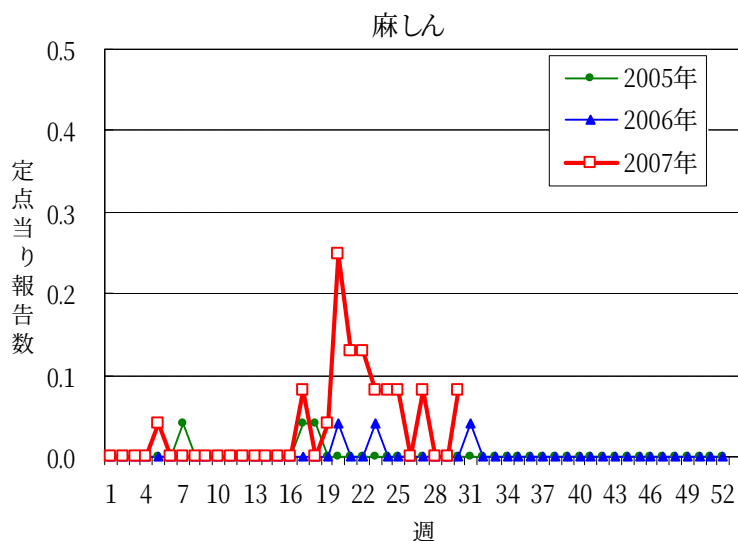
1. 麻しん

2週続けて報告はありませんでしたが、第30週は小児科定点から2人報告されています

東区・10～14歳・1人、佐伯区・20歳以上・1人)。終息傾向と考えられますが、今後も散発的な患者の発生はありと考えられますので、引き続き注意が必要です。

2. ヘルパンギーナ

定点当たり2.71人とやや減少していますが、多い状態が続いています。安芸区では12.5人と特に多く、佐伯区5.3人、中区3.0人となっています。



■5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	0.01		麻しん(注3)	2	0.08	0.03	
咽頭結膜熱	9	0.38	0.52		流行性耳下腺炎	5	0.21	1.65	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	1.04	0.79	→	RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	83	3.46	3.12	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	9	0.38	0.91	↗	流行性角結膜炎	6	0.75	1.65	
手足口病	15	0.63	4.36	↗	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	9	0.38	0.42		無菌性髄膜炎	-	-	1.57	
突発性発しん	20	0.83	0.95		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.23	
百日咳	1	0.04	0.07		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻しん	-	-	-	
ヘルパンギーナ	65	2.71	2.31	↘					

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1.2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1.1.5～2.0の増減

微増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

注1) 過去5年間 (RSウイルス感染症は3年間)の同時期平均(定点当り)
 注2) 鳥インフルエンザを除く
 注3) 成人麻しんを除く
 注4) オウム病を除く

■1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	5	80	男性(50歳代)・3人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	5	男性(10歳代)・O157、男性(10歳代)・O157
5	アメーバ赤痢	1	5	男性(50歳代)
5	ウイルス性肝炎	1	1	女性(20歳代)・B型

■ 5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

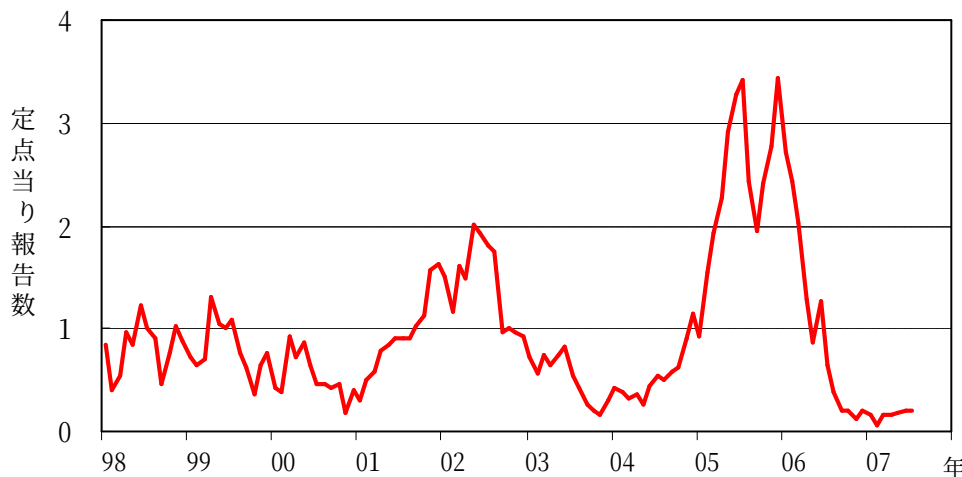
			インフルエンザ (注1)	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第26週	-	12	31	95	26	36	10	24	1	-	88	-	3	-	1	3	-	-	1	-
		第27週	-	24	30	99	25	53	6	25	-	1	103	2	2	-	7	-	1	2	-	
		第28週	-	9	45	73	22	24	4	24	1	-	83	-	7	1	3	-	1	2	-	
		第29週	-	8	26	77	18	23	11	18	-	-	84	-	5	1	5	-	-	7	-	
		第30週	-	9	25	83	9	15	9	20	1	-	65	2	5	-	6	-	-	3	-	
定点当り	広島市	第26週	-	0.50	1.29	3.96	1.08	1.50	0.42	1.00	0.04	-	3.67	-	0.13	-	0.13	0.38	-	-	0.14	-
		第27週	-	1.00	1.25	4.13	1.04	2.21	0.25	1.04	-	0.04	4.29	0.08	0.08	-	0.88	-	0.14	0.29	-	
		第28週	-	0.38	1.88	3.04	0.92	1.00	0.17	1.00	0.04	-	3.46	-	0.29	0.04	0.13	0.38	-	0.14	0.29	
		第29週	-	0.33	1.08	3.21	0.75	0.96	0.46	0.75	-	-	3.50	-	0.21	0.04	-	0.63	-	-	1.00	
		第30週	-	0.38	1.04	3.46	0.38	0.63	0.38	0.83	0.04	-	2.71	0.08	0.21	-	0.75	-	-	0.43	-	
	全国	第28週	0.21	0.53	1.58	3.88	1.11	1.87	0.79	0.79	0.02	-	4.35	0.02	0.49	-	0.02	0.77	0.01	0.04	0.38	0.02
		第29週	0.18	0.42	1.30	3.28	0.95	1.83	0.72	0.70	0.01	-	4.41	0.03	0.42	-	0.01	0.66	0.01	0.05	0.29	0.02

注1)鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

■新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱、麻しん	1	男	2007/06/15	咽頭拭い液 尿	麻疹ウイルス
水痘 細気管支炎	1	女	2007/06/20	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス

【参考】広島市における流行性耳下腺炎の最近10年間の発生動向 (1998年以降)



注) このグラフの縦軸は、月別定点当り報告数の1週当り平均値を示しています。

流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) は、ムンプスウイルスを病原体とする感染症で、耳の下のあたりが腫れて痛くなるのが特徴です。

季節変動はあまりなく、年間を通じて患者がみられますが、3～4年の周期で増減する傾向があります。

最近の広島市では、2005年に大きな流行となりましたが、2006年は減少傾向で推移し、2007年に入ってからほとんど流行はみられていません。

しかし、過去数年の変動パターンから推測すると、そろそろ増加傾向に転じる時期と考えられますので、今後の動向に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第30週 7月23日～7月29日)